

令和7年度

第1回 金沢市歴史まちづくり協議会（書面開催）

【日時】令和7年12月23日（火）～令和8年1月16日（金）

【次第】

報 告

金沢市歴史的風致維持向上計画（第2期）

における事業の進捗状況について 【資料】

・・・P1

金沢市歴史まちづくり協議会規約

(名 称)

第1条 この協議会は、「金沢市歴史まちづくり協議会」と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、金沢の「まち」の魅力をさらに高めるため、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（平成20年法律第40号）第11条第1項の規定に基づき、同法第5条第1項に規定する歴史的風致維持向上計画（以下「歴史的風致維持向上計画」という。）の作成及び変更に関する協議並びに認定歴史的風致維持向上計画の実施に係る連絡調整を行う。

(会 長)

第3条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、当該協議会を組織する委員（以下「委員」という。）の互選によりこれを選任する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会 議)

第4条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の2分の1以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員は、やむを得ない事情により会議に出席することができない場合は、その指名する者を代理として出席させることができる。
- 4 会長は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(事務局)

第5条 協議会の事務局は、金沢市文化スポーツ局歴史都市推進課に置く。

(雑 則)

第6条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成20年11月4日から施行する。

附 則

この規約は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成28年4月1日から施行する。

金沢市歴史まちづくり協議会 委員名簿

(令和7年度 第1回 金沢市歴史まちづくり協議会)

(敬称略)

令和7年12月1日現在

構成	氏名	役職
学識経験者 (五十音順)	川崎 寧史	金沢工業大学教授 (建築)
	越島 裕昭	金沢職人大学校理事 (金沢市建築組合 組合長)
	竹松 幸香	前田土佐守家資料館副館長 (近世史)
	新田 千鶴子	金沢商工会議所議員
	馬場先 恵子	金沢学院大学名誉教授 (都市計画)
	山崎 達文	金沢学院大学名誉教授 (文化財)
	山崎 幹泰	金沢工業大学教授 (日本建築史)
石川県	田中 進一郎	都市計画課長
	竹内 憲一	公園緑地課長
	原田 仁史	文化財課長
計 10名		

報 告

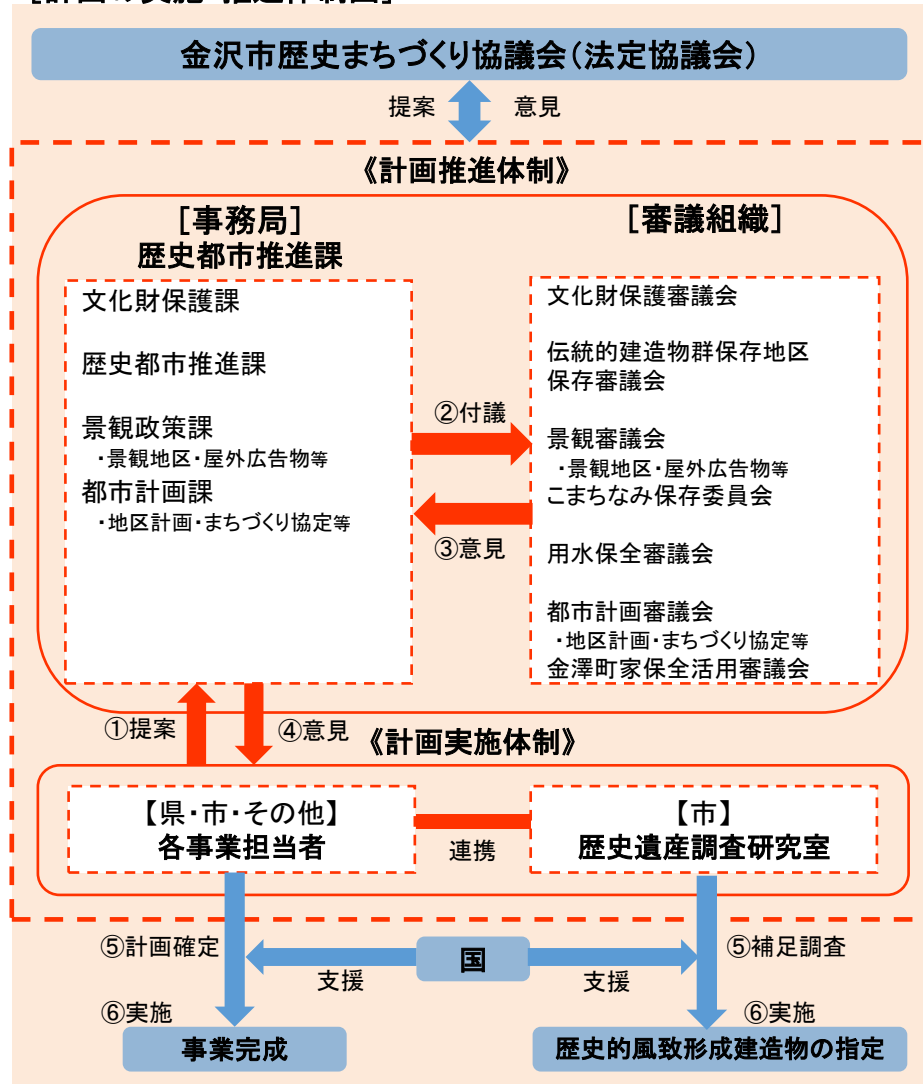
金沢市歴史的風致維持向上計画（第2期） における事業の進捗状況について



令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

1. 組織体制

[計画の実施・推進体制図]



[組織体制]



文化財保護とまちづくりの整合を図るため、関係課を「まちづくりフロア」として一体的に集中配置し、定期的にフロア会議を開催するなど連携を強化することで施策を推進している。



令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

2. 重点区域における良好な景観を形成する施策

【景観計画】平成21年制定

金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例(景観条例)に基づき、市全域を景観計画区域とした景観計画において、重点区域全体を指定区域として景観形成基準を定め、規制・誘導を図り、歴史的風致の維持向上に関して実効性を高めている。

【屋外広告物条例】平成7年制定

「金沢市屋外広告物等に関する条例」に基づき指定区域において屋外広告物の規制・誘導を行っている。また、屋外広告物審査会にも諮り、色彩、デザインに関する指導・助言を行っている。

【市独自条例(こまちなみ保存条例)】平成6年制定

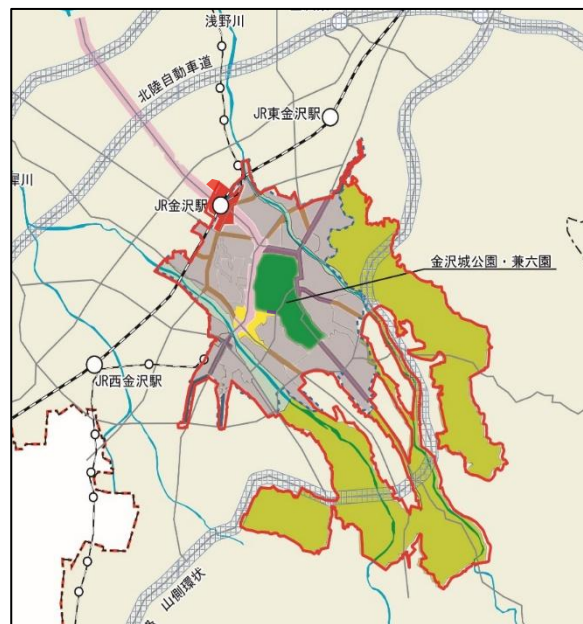
条例に基づく区域である「こまちなみ保存区域」を指定し、届出制による建築行為等の規制、誘導を図っている。

【市独自条例(用水保存条例)】平成8年制定

条例に基づき「保全用水」を指定し、届出制により用水及び用水に隣接する土地における工作物の設置や建築行為等について助言、指導を行っている。

【金沢都市美文化賞】昭和53年創設

快適で魅力ある都市空間を形作りながらも周囲の環境や美観に配慮した建物等を表彰する制度。民間主導。今年度、第48回表彰式開催(3/25)



凡 例	
景観形成区域	
伝統環境保存区域	
■	歴史文化象徵区域 (A)
■	伝統的街並み区域 (B)
■	川筋景観区域 (C)
■	旧街道街並み区域 (D)
■	遠望風致区域 (E)
伝統環境調和区域	
■	景趣調和区域 (A)
■	景観調和区域 (B)
近代的都市景観創出区域	
■	金沢駅周辺区域 (A)
■	都心軸区域 (B)
■	商業業務区域 (C)
重要広域幹線景観形成区域	
■	北陸自動車道沿道、外環状道路・津幡バイパス沿道
景観計画区域	
■	その他区域 (薄緑色の区域)
—	主要な道路
—	鉄道
---	市域
---	都市計画区域

区域指定図(景観計画)



優良意匠屋外広告物(いしかわ広告景観賞金沢市長賞受賞)

シンプルで洗練されたデザインに、月の表現に使用されている黄色が程よいアクセントを添えている。夜間には、建物の白いタイルに映し出される月のサインが幻想的な雰囲気醸し出し、コンパクトに仕上げつつも、建物と調和をしながら存在感を放っている。

項目	R6年度	R7年度 (R7.11現在)
景観届出件数	587件	272件
屋外広告物審査会での審査件数	185件	102件
優良意匠屋外広告物の指定	3件	6件
こまちなみ保存区域での修理事件数	3件	3件
金澤町家の修理事件数	4件	12件
保全用水届出件数	46件	16件



令和7年度 進捗評価（施策・事業の進捗状況）

3. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

（1）歴史的建造物の積極的な保全と活用に関する事業（14事業） 【掲載ページP196～P209】

No.	事業名	進捗状況
①	金沢城公園整備事業	「二の丸御殿」の復元整備工事に着手した。一方、石垣の調査や保全対策については震災に伴い一旦休止し、別途復旧を進めている。
②	「土清水塩硝蔵跡」復元整備事業	実施設計(令和6～7年度:2カ年)を行った。
③	野田山墓地整備事業	看板修景工事(N=7基)を行った。
④	伝統的寺社建造物修復事業	4件の修理に対して助成を行った。【災害復旧分】3件、【通常分】1件
⑤	長町景観地区保全活用事業	松の木の剪定・雪吊り24件に対して助成を行った。
⑥	金澤町家再生活活用事業	12件に対して助成を行った。【災害復旧分】4件、【通常分】8件
⑦	にし茶屋街修景整備事業	所有者の相談に応じて、制度の説明や協議を行った。
⑧	文化財保存助成事業	13件の修理に対して助成を行った。 【災害復旧分】・市指定文化財4件、市指定保存対象物1件 【通常分】・市指定文化財8件
⑨	県指定文化財助成事業	3件の修理に対して助成を行った。 【通常分】・県指定文化財3件
⑩	景観修景事業	生垣整備事業4件、外構修景事業2件に対して助成を行った。
⑪	歴史的建造物保存活用事業	・歴史的建造物の屋根修繕工事、市民講座を行った。 ・「保存活用計画」を策定するとともに、施設の管理体制や事業運営に関する検討を実施、改修に向けた実施設計を行った。（旧森紙店）
⑫	文化財ボランティア活動支援事業	・研修によりボランティア5名を育成 ・歴史のまちしるべの補修（東山・尾張町地区11件）、史跡クリーン大作戦の実施(59名)、金沢の坂道探訪会の開催(参加者20名)等
⑬	金沢の庭園文化発信事業	大野庄用水を取り込んだ歴史的庭園の詳細測量を実施（1件）
⑭	歴史的建造物保存修理アドバイザー制度事業	アドバイザー制度を活用して文化財建造物修理方針を作成。（2件）



①金沢城公園整備事業



⑪歴史的建造物保存活用事業

⑭歴史的建造物保存修理
アドバイザー制度事業



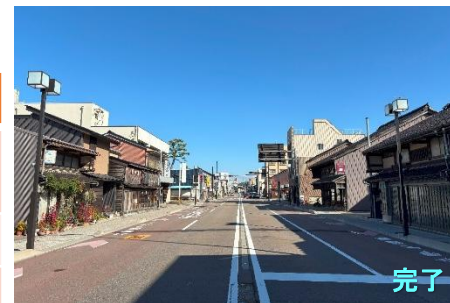
令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

3. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

(2) 歴史的街並みの保全に関する事業(16事業)

【掲載ページP210～P229】

No.	事業名	進捗状況
⑮	旧鶴来街道(県道～六斗広見、蛤坂)無電柱化事業	電線管路工事(L=70m)を実施した。
⑯	下新町通り無電柱化事業	ソフト柱設置工事(N=4基)、ハンドホール設置工事(N=1か所)を実施した。
⑰	ひがし茶屋街無電柱化事業	観音町通り無電柱化事業との調整を行った。(一体的整備予定のため)
⑱	旧北国街道(ふくろう通り)無電柱化事業	抜柱工事、一部修景整備工事(側溝、イメージ歩道)を行った。
⑲	金沢城お堀通り(尾崎神社前)無電柱化事業	(未着手)
⑳	観音町通り無電柱化事業	次期施工区間(Ⅱ期)に関して、関係各事業者と調整を行った。
㉑	(都)寺町今町線東山～森山無電柱化事業	歩道工事(L=280m)を実施した。(完了)
㉒	(都)専光寺野田線寺町3丁目～5丁目無電柱化事業	車道消雪工事、車道舗装工事(L=300m)を実施した。
㉓	(都)小立野線無電柱化事業	無電柱化管路工事(L=59.1m)を実施した。
㉔	鞍月用水沿い・旧古寺町無電柱化事業	北陸電力送配電と包括発注方式による協定を締結。設計業務を実施した。
㉕	浅野川風情の道整備事業	(未着手)
㉖	こまちなみ保存事業	3件の修理対して助成を行った。【災害復旧分】2件、【通常分】1件
㉗	川筋景観保全事業	緑化事業1件。
㉘	眺望景観形成事業	今年度の実績はなし。
㉙	木の文化都市・金沢 創出モデル事業	今年度の実績はなし。
㉚	(都)寺町今町線森山～山の上無電柱化事業	設計業務を実施した。



㉑(都)寺町今町線東山～森山無電柱化事業



修景前



修景後

㉖こまちなみ保存事業



令和7年度 進捗評価（施策・事業の進捗状況）

3. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

（3）歴史的建造物の周辺環境の保全に関する事業（8事業）

【掲載ページP230～P234】

No.	事業名	進捗状況
③①	斜面緑地保全育成事業	高木緑化事業3件、巨木適正管理事業9件
③②	良好な広告景観形成事業	屋外広告物等撤去事業5件を実施した。
③③	観光案内板整備事業	既存の観光案内サイン標示シート修繕（83か所） 観光地案内路面標示サイン、看板等改修（40か所）
③④	多言語化事業	情報発信力強化のためにウェブサイト内の内容充実 観光パンフレットの改訂（8言語）
③⑤	人材育成事業	これから通訳ガイドを目指す方を対象とした基本研修の実施した。（44名） 通訳ガイドや市内事業者を対象とした研修を実施した。（45名）
③⑥	建築文化発信事業	・建築家の藤本壮介氏を招き金沢・建築文化会議（建築とまちづくりを考える）を開催。市内外から約750名が参加した。 ・「金沢・建築月間」として建築関連事業を一体的に開催した。
③⑦	公共シェアサイクル「まちなり」運営事業	サイクルポート数74箇所を維持し、まちなかの回遊性を高めた。
③⑧	加賀百万石回遊ルート魅力向上事業	回遊ルートマップを作成し、各所に配布した。



巨木適正管理事業

③①斜面緑地保全育成事業



屋外広告物等撤去事業

③②良好な広告景観形成事業



実地研修

③⑤人材育成事業



金沢・建築文化会議

③⑥建築文化発信事業



金沢・建築月間の開催





令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

3. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

(4) 伝統行事、伝統文化及び工芸技術の継承、後継者の育成に関する事業(14事業)

【掲載ページP235～P248】

No.	事業名	進捗状況
③⑨	金沢百万石まつり開催事業	第74回金沢百万石まつり開催(6/6～6/8)
④⑩	工芸工房開設奨励事業	今年度の実績はなし。
④①	芸妓文化継承支援事業	石川伝統芸能支援経済人会議が実施する伝統芸能継承支援事業に対し、補助金を交付
④②	金沢の茶屋文化継承事業	茶屋1件の内装改修工事、給排水設備等工事等に対して助成を行った。
④③	金沢の茶屋文化継承資金利子補給事業	茶屋2件に対して支援を行った。他1件について改装工事完了後支援予定。
④④	伝統産業技術研修者育成事業	伝統産業の技術研修者12名、伝承事業者9名に対し奨励金を交付した。
④⑤	加賀宝生子ども塾事業	謡・仕舞教室塾生6名が稽古を21回、百万石薪能へ出演、中間発表会を行った。狂言教室塾生6名が稽古を6回、百万石薪能へ出演、修了発表会を行った。新規塾生4名が稽古を15回行った。
④⑥	金沢素囃子子ども塾事業	第11期生9名が稽古を24回実施し、杵望会秋のおさらい会に参加した。
④⑦	金沢工芸子ども塾事業	9期生(1年目)20名がデザイン・金工・陶磁・染織・漆芸の各分野について制作の実習を20回行い、工芸に対する理解を深めた。
④⑧	金沢茶道子ども塾事業	第14期生19名が第1回～第24回カリキュラムを行った。
④⑨	子どもマイスタースクール	12期生16名が受講し、職人に対する理解を深めている。 (これまで1～11期生 計141名が修了)
⑤⑩	旧町名復活事業	歴史のまちしるべ標柱を巡る「探訪ウォーク」(1回)、旧町名出前講座(2回)、「旧町名魅力発見まち歩き」を開催した。(1回、参加者19名)
⑤①	わくわく子ども文化祭開催事業	小中学校の親子を対象とした多様な文化体験プログラムを開催した。 (伝統文化体験650名、音楽文化体験350名、)
⑤②	薦づくり担い手育成事業	薦製作継承検討委員会の開催 2回、金沢職人大学校手縫い畳床研究会による薦の試作 1回、薦製作道具の作成 1セットを実施した。



③⑨金沢百万石まつり開催事業



④⑤加賀宝生子ども塾事業



⑤②薦づくり担い手育成事業



令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

4. 文化財の保存又は活用に関する事項

①文化財の保存又は活用の推進

【市指定有形文化財】指定1件（令和7年3月21日）

■尾崎神社豊受稲荷社社殿 附御宮移転図巻

【国登録文化財】登録2件（令和7年9月18日）、答申1件（令和7年11月21日）

登録 ■平木氏庭園、■山田氏庭園、答申 ■旧金石警察署庁舎



尾崎神社豊受稲荷社社殿



平木氏庭園



旧金石警察署庁舎

②文化財の修理(整備)の推進

■市指定文化財修理件数・・・13件

如来寺本堂(写真左)、千田家庭園(写真右)など



屋根の修理



池の浚渫等

③文化財の防災

寺町台伝統的建造物群保存地区では、文化財防火デーに合わせ消防局が地域住民や寺町台まちづくり協議会と合同で防火パトロール及び初期消火訓練を実施する予定である。(1月25日)同様に 卯辰山麓地区、主計町地区でも実施する予定である。



昨年度実施写真

合同パトロール



昨年度実施写真

消火訓練

④文化財の保存又は活用の普及啓発

10月1日～11月30日を「金沢歴史遺産探訪月間」とし、市内各所で探訪会や文化財の公開等のイベントを開催した。

■イベント数:24件(「鏡花と文化的景観」「卯辰山山麓寺院群探訪会」等)

■参加者(来場者)合計:4,089名



鏡花と文化的景観



卯辰山山麓寺院群探訪会



令和7年度 進捗評価 (施策・事業の進捗状況)

5. 効果・影響等に関する報道

文化財及び伝統行事・伝統文化、職人に関することなど「歴史都市金沢」として当該計画に掲載されている事業についての報道が多数なされている。これらの報道をとおり、歴史的風致の維持及び向上に対する関心・認識が深まり、「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していると推察される。

6. その他(効果等)

①住民意識の向上

金沢歴史遺産探訪月間のイベントのうち、アンケート調査を実施した「鏡花と文化的景観」「卯辰山山麓寺院群探訪会」では、「とても満足」「満足」の回答が多数を占め、今後もイベントに参加したいという意見が多く、歴史遺産探訪月間を通じて歴史まちづくりに対する住民意識の高まりが感じられた。

②歴史的建造物の減失数の鈍化

金沢町家の保全と活用のための支援事業を実施してきた効果もあり、戦前建築物の毎年の減少傾向が鈍化している。

【まちなか区域における昭和20年以前に建築された木造建築物数】

平成20年以前 減少数: 約270棟/年

◆歴史まちづくり計画(第1期)開始(平成21年1月)

平成21年頃より 減少数: 約150棟/年

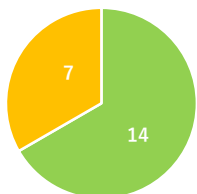
◆歴史まちづくり計画(第2期)開始(平成30年3月)

令和2年頃より 減少数: 約80棟/年

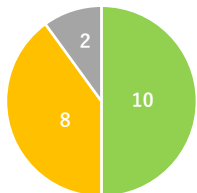


金沢歴史遺産探訪月間のチラシ

『鏡花と文化的景観』



『卯辰山山麓寺院群探訪会』



■とても満足 ■満足 ■普通

アンケート結果



町家



武士系住宅